

平成 25 年度大学職員情報化研究講習会～応用コース～

第 1 分科会「主体的学びを促進する ICT を活用した学修支援環境の考察」

第 6 グループ討議経過と内容

第 6 グループは“学修ポートフォリオ”を中心に討議を希望するグループでした。当日は自己紹介から始め、下記の通り議論を行いましたのでご報告いたします。

◇目的と必要性

- ・むやみやたらに導入するのではなく、まずは目的をしっかりと定めて進める必要がある。
- ・第一義的には、学生に振り返り学修をさせ、学生自身を成長させるために導入するものであるが、教育への研究支援や学生への履修支援・学生生活支援等、幅広い分野で役立つものである。また、学生と教員とのコミュニケーションの活性化にも資する。
- ・旧来、学生への授業は教員個々の直感に負うところも少なくなかったが、学生個々の学修状況が蓄積されたポートフォリオを、教員が解析することにより授業に活かすことで、学生への説得力強化に繋げることができる。
- ・導入により、大学の設立理念の達成に近づけるべく学生を育てることで、“大学教育の質保証”を担保することができる。また、他大学との差別化にもなり、生き残りへの重要な要素となる。

◇効果的な活用方法

- ・学修の記録だけでなく、就職活動にも援用可能である。(キャリアポートフォリオ)
- ・学生との面談をする際にも、当該学生のカルテが役立つのではないか。学修記録だけではなく、成長記録の振り返りツールとしても使用可能であろう。
- ・例えば教育実習前に関係科目の学修について振り返るなど、教職課程への活用も考えられる。(履修カルテ)
- ・学生への授業改善アンケートも、ポートフォリオ上で実施可能である。
- ・カリキュラム改定に際し、検討資料の根拠としても使えるのではないか。

◇導入・運用の課題・問題点

- ・導入時の課題としては、全学的に普及及び促進させるために、如何にして教学側の理解を得るのが、最も苦勞する点であろう。また、担当する職員間の連携及び既存のシステムとの連携や資金面も重要な課題である。
- ・運用時の課題としては、学生の利用率を如何にして向上させるかが、大きな問題である。